

和やかに だいせんファンクラブ 交流会

「だいせんファンクラブ交流会」を11月5日（土）、東京で行いました。ファンクラブ会員、来賓、スタッフ合わせて総勢40人が集まり、会員同士の親睦と交流を深めました。会場となったお店のご好意で、大山町産のブロッコリーをはじめ、ふるさとの食材を使い、交流会の料理を作っていたいただきました。なかでも、大山町で飼育されている「大山ルビー（豚）」を使ったしゃぶしゃぶは、参加者から「おいしい」と大絶賛。新しいふるさとの味を会員のみなさんに堪能してもらうことができました。



▲さわやかに歌う、福留大樹さん（右）

交流会では、地元出身者で日本フランス料理界の重鎮、井上旭シェフが、ふるさとへの思いを懐かしい故郷の食材を通じて熱く語ってくださいました。シンガーソングライターとして、東京で活躍中の福留大樹さんも会場に駆けつけ、持ち歌を披露し、交流会に花を添えてくださいました。来年は、大阪での交流会を予定しています。

※だいせんファンクラブでは会員を募集しています。町外にお住まいの大山町出身の方はもちろん、大山町が大好きという方も大歓迎です。年会費は1,000円です。詳しくはお問い合わせください。

◆問い合わせ先

企画情報課

☎0859・54・5202

子どもたちの 夢がいつばい！

大山チャンネルで収録

ケーブルテレビ・大山チャンネルでは、正月特別企画「ひとことメッセージ」を1月から放送します。この番組は町内10園の保育所年長児が登場し、1人ずつ夢を披露します。

その収録が11月からスタートしました。

12月7日は庄内保育所での収録でした。少し肌寒かったですが、鉄棒で逆上がりや前まわりをバッチリ決めたあと、「歯医者さんになりたい」「大工さんになりたい」など、子どもたちは元気よく夢を発表しました。

ふわふわ、伯州綿への夢 大雀・荒田さん

伯州綿は繊維の長さは短いものの、弾力性に富み保温性に優れているのが特徴です。かつては高級品として弓ヶ浜半島を中心に県西部で栽培されていました。海外から安価な綿が輸入されるようになると、綿栽培の需要は激減してしまいました。

荒田さんの夢は、大山町産の伯州綿から糸をつむぎ、マフラーや織物など加工品を作ること。今回収穫した綿の種を使って、収穫量と綿づくりの仲間を増やしたいと意気込みを語られました。

一昨年の県政だよりで紹介された伯州綿復活へ向けた取り組みの記事を見て、伯州綿を栽培してみたいと大雀の荒田楠さんが自宅前の畑に伯州綿の種をまき、綿の栽培に挑戦されました。



▶綿を収穫する荒田さん

お知らせ 元旦マラソン大会

2012年の幕開けをマラソンで。爽やかな汗を流しませんか？

◆日時 1月1日（祝） 午前10時集合

◆場所 名和神社駐車場 発着

◆コース

・2km（新坪田周回コース）
・6km（トレセン往復コース）

◆その他

申込み不要、参加料無料
初詣してからスタート

◆問い合わせ先 大山町教育委員会社会教育課

☎0859・54・5212



▲「本番、行きますよ！」